浅間隠山

山行日　　2020 年 6 月 20 日
参加者　　KMSD
行程　　二度上峠 7:24－浅間隠山 8:21/8:43－二度上峠 9:39－駒神山 9:46－二度上峠－氷妻山 10:37－鼻曲山 11:28/11:54－氷妻山 12:30－二度上峠 13:13

6 月 19 日から、県外の山への登山が容認されたので、早速 200 名山である、浅間隠山に行ってきた。

道路は、県外への移動の自粛が解除されて初めての土曜日の朝のためか、外環道、関越道ともに、比較的速度を上げた若者の運転する車両が多く感じられた。車は、二度上（にどあげ）峠のちょい先の、トイレのある駐車場に駐車し、浅間隠山をピストンし、その後、駒髪山と鼻曲山をピストンすることとした。梅雨の晴れ間の青空がきれいである。

浅間隠山の登山口は、駐車場から約 200m 程度一般道を下った先から入山する。広々とした草原の広い登山道を抜けると、日本あやめが咲き誇る頂上に出ると、視界が一気に広がり、360 度の展望が得られた。

西には、雲で山の中腹が隠された浅間山と、蛇骨山、水ノ塔などの浅間の山々が、北には、草津白根の長い稜線が、その奥にはうっすらと四阿山を望むことができた。南は、これから行く、蛇骨山、妙義山を望め、東には、榛名山、赤城山と、本山に隠されて浅間山を見ることができない（？）中之条や東吾妻の市街地が広がっている。

下山後、車をそのままにして、駒髪山、鼻曲山をピストンした。その際、二度上峠からの雲の晴れた浅間山は絶景であった。登山道は、峠自体が 1390m と高いために、比較的緩やかな上下道であったが、鼻っぱしの高い（？）鼻曲山の最後の登りは、これこそ直登であるとばかりの、真っ直ぐな登りであった。鼻曲山の頂上からは、南方向の展望がひらけ、妙義山とともに、八風山から延びる荒船山までの長い長い山並みが確認され、次回の山行意欲を掻き立ててくれた。

梅雨の晴れ間の青空のもと、憧れの 200 名山をゲットした、楽しい登山であった。帰りは土曜日のためか、関越道は渋滞もなく、スムーズに帰路することできた。